



直方市ゼロカーボンシティ宣言

福岡県北部に位置する直方市は、緑豊かな福智山と南北に流れる遠賀川・彦山川など、美しい自然に恵まれた水と緑があふれるまちです。しかし近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動や異常気象の影響により、世界規模で深刻な自然災害が多発しています。

直方市においても自然災害が頻発しているため、この「気候危機」と言うべき状況に対策を講じなければ、今後も深刻な大規模災害が起こることが予測できます。また、気温の変化に伴い、農作物や水産物にも影響が出始めています。

地球温暖化防止の取り組みは世界中での課題となり、2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。

また、2018年に公表されたIPCCの特別報告書では「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

直方市は市民や事業者の皆様のあらゆる賢い選択の積み重ねにより、ライフスタイルを維持しつつ、二酸化炭素の排出量を全体としてゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、継続して取り組むことをここに宣言します。

令和4年2月26日

直方市長 大塚 進弘